

# これからの まちづくり活動について



令和元年5月29日  
安佐南区地域起こし推進課

# これからのまちづくり活動の手法例

1 協同労働

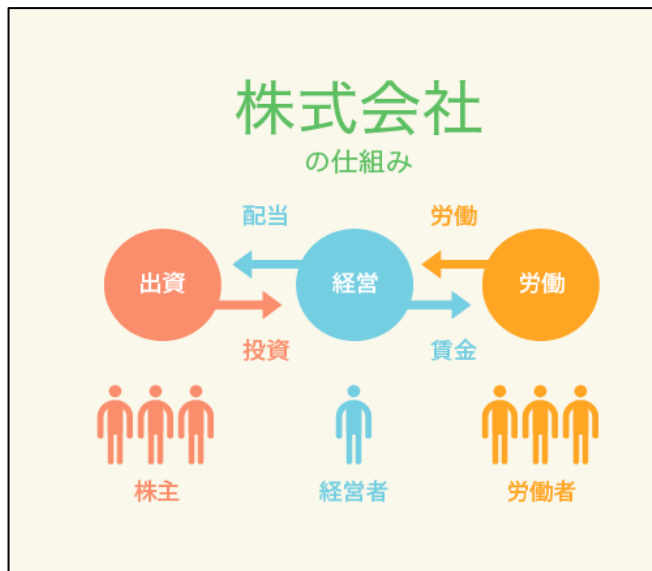
2 エリアマネジメント(エリマネ)

# 1 協同労働

## 仕組み

みんなで出資して経営に参画し、人と地域に役立つ仕事(地域課題解決)に取り組む労働形態のこと。

## 働き方の特徴



# 想いがあれば、あなたにもできる!

特別な経験やスキルがなくても仲間と一緒にやれば、あなたのやりたい事が協同労働でできます。

凡例

- 農 農業
- 環 環境保全
- 困 困りごと支援
- サ サロン
- 食 食事提供
- 伝 伝承
- 子 子ども支援
- 町 町内会等連携活動
- 場 地域活動の場提供
- 障 障がい者支援



① 東区牛田南町  
うしたあらぐさクラブ

子どもたちに多様な教育の機会を提供するために学習支援を軸に子ども支援を行います。

サ子 構成員 7名



② 安佐北区白木町秋山  
河津川プロジェクト

耕作放棄地を利用した農業や高齢者の養蜂工技術を継承して宝船等養蜂工の製造販売をします。

農伝 構成員 7名



③ 南区似島  
サンセットビューにのしま

地域住民の方が気軽に立ち寄れるサロンや、島に訪れる人との交流を進める機会作りを行います。

サ 構成員 5名



④ 南区似島  
シトラスガーデンにのしま

耕作放棄された畑を活用した柑橘栽培や、柑橘が身近にある暮らしの提案を行います。

農 構成員 4名



⑨ 安佐南区伴  
アグリ アシストとも

耕作放棄地や休耕田を整備し農と共にある景観を守るためJA広島市と連携して新しい形の農業を進めます。

農環困 構成員 14名



⑩ 安芸区畑賀  
協同労働「里山ワッショイ」

休耕田を活用した景観向上や地域住民の交流の場づくり、農業体験、里山資源の有効活用等を進めます。

農環困 構成員 24名



⑪ 東区東山  
元気で楽しい東山をつくらう会

町内会加入率が下がる中、マンションを中心に全住民のコミュニティの再生を目指します。

環サ町 構成員 18名



⑫ 安佐南区伴東  
GO郷・まつむね

地域の環境は自らの手で守るを合言葉に、里山整備や高齢者等の居場所づくり等を進めます。

環困サ 構成員 13名



⑤ 西区三篠北町  
みんなのわいわい広場

地域の高齢者がみんなでわいわい集える食事提供やサロン(居場所づくり)を行います。

サ食 構成員 6名



⑥ 西区己斐本町  
わくわくクラブ

認知症予防カフェによる高齢者の健康・居場所づくりや、子ども一時預かり等の居場所づくりを進めます。

サ子 構成員 4名



⑦ 東区福田  
真正面

耕作放棄地の活用による野菜作りや、農業体験・収穫祭等での地域住民との交流の場づくりを目指します。

農困サ 構成員 4名

## 個人 | が集まりスタート



⑬ 佐伯区河内南  
サロンド・ワーク彩

高齢者等誰もが気軽に集えるカフェサロンを中心に、団体の賑わい作りを目指して事業を進めます。

困サ町 構成員 3名



⑭ 安佐南区伴東  
すまいるワーク

地域住民の皆様がこの地域に安心して住み続けられるよう交流の場づくり(カフェサロン)等を進めます。

困サ 構成員 8名



⑮ 安佐南区昆沙門台  
びしゃもん台 絆くらぶ

町内会、学区社協、びしゃもん台絆くらぶがそれぞれ役割分担して、地域住民に高品質なサービスを提供します。

環困町 構成員 20名

## NPO・市民団体 | の仲間スタート



⑯ 安佐南区上安  
夢咲庵

地域の居場所としての常時開設のサロン、住民の手作り作品の展示販売やおりづる製作もしています。

サ 構成員 5名



⑰ 安佐北区可部町  
ケセラ

高齢者を含めた地域住民の方のコミュニティ作りを支援するためにテーマ型サロンや拠点解放事業を行います。

サ場 構成員 5名



⑱ 安佐北区亀崎  
たんぼのわたげ

地域住民の皆さんのコミュニティ再生を目標に、住民の方ご自宅の一角をお借りしたおうちサロンを進めます。

困サ 構成員 23名



⑲ 安佐北区白木町井原  
ひねもすようこそ

障がい者や高齢者が地域でいつまでも安心して生活ができるような交流の場づくりや困りごと支援を進めます。

困サ障 構成員 8名



⑲ 安佐南区八木  
復興交流館 モンドラゴン

H26年の土砂災害からの復興・伝承を目指して地域のコミュニティ再生を進めます。

サ食伝 構成員 22名

## 社協・町内会 | の仲間スタート

※構成員の人数は、平成31年1月31日時点です。

# 「びしゃもん台 絆くらぶ」の活動 [中国新聞(平成31年4月3日)より]

## 安佐南区の毘沙門台住民 請負団体



今後の活動をメンバーと話し合う木村代表(右から2人目)

# 団地生活困り事解決

広島市安佐南区の毘沙門台団地の住民が、暮らしの困り事に対応するための団体「びしゃもん台 絆くらぶ」を結成した。高齢化が進む団地の住民の依頼を受けて家事や力仕事をこなし、助け合いでより住みやすい地域づくりにつなげる狙い。1日から依頼を受け付けている。(神田真臣)

## 単身高齢者増 家事や力仕事

絆くらぶには、会社を定年退職した人や自営業者、主婦たち同団地に暮らす40代以上の男女55人が所属。各町内会の役員を通じて住民から依頼を受け付ける。草刈りや網戸の交換、パソコンの初期設定といった身の回りの困り事を想定。依頼主と費用や日程などを調整した上で、作業に当たるメンバーを派遣し、費用は内容に応じて随時決める。

同団地には昨年末時点で約2800世帯6950人9060。絆くらぶには、自ら出資し経営にも参加する「協同労働」を推進する市から約50万円の補助金を受けたほか、住民からの出資金で約70万円を調達。今後の活動に役立つ。木村忠信代表(83)は「既に住民から問い合わせも寄せられている。メンバーがそれぞれのスキルを生かして地域で活躍する場にもなれば」と期待する。問い合わせは、絆くらぶの拠点が入る毘沙門台2丁目の交流施設「ふれあいセンター1絆」☎082(870)9060。



# 協同労働における広島市の支援

- ① 広島市「協同労働」プラットフォームによる支援
- ② 立ち上げ経費の補助
  - 補助率 1/2（上限100万円）
  - 補助金交付要件
    - ・ 広島市を拠点に活動し、構成員が4名以上で、うち半数が60歳以上であること。
    - ・ 地域課題の解決に取り組み、地域の活性化につながる事業であること。
    - ・ 事業の継続に必要な収益が見込まれること。

## 2 エリアマネジメント（エリマネ）

“特定のエリアを単位に、民間が主体となって、まちづくりや地域経営（マネジメント）を積極的に行おうという取組”

内閣府HPより

例えば、どんな取組？

- ◎ まちのにぎわいづくり
- ◎ 環境維持、美化活動
- ◎ 防災・防犯活動
- ◎ まちの情報発信
- ◎ 地域ルールづくり

公共施設等を有効活用し、活動財源を確保しながら、継続的に行う。



# 2 エリアマネジメント (エリマネ)

## 広島市のエリアマネジメント

市長講演資料より

大きな  
エリアマネジメント

- ◆ 広島駅周辺や紙屋町・八丁堀地区など拠点性の高い地区で、**住民・事業者等で構成する団体**が、**規制緩和**により公有財産や公共的空間を有効活用

- ① **来訪者を呼び込み、地区をさらに活性化**
- ② **活動団体の財源確保**



小さな  
エリアマネジメント

- ◆ 市内各地域で、**町内会・自治会等**が、**規制緩和**により身近にある公園等を有効活用（営利活動や自動販売機の設置も想定）

- ① **にぎわいづくりによる地域コミュニティ活性化**
- ② **町内会・自治会の財源確保**





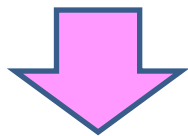
# 大きなエリアマネジメントへの支援

## 広島市エリアマネジメント活動計画認定制度

エリアマネジメントの活動のうち、

- (1) 活動目的
- (2) エリア（活動範囲）
- (3) 活動組織
- (4) 活動内容

の「四つの要件」を満たし、かつ、個別の活動内容等が、公益性、実行性、継続性などを有すると認められるものを認定の対象とする。



活動計画の認定後は、**公有財産等を有効活用する際に支障となる規制を特例的に緩和する。**

### 認定事例（JR広島駅北口周辺）

〔中国新聞(平成31年4月3日)より〕

#### 「規制緩和第1号」 「エキキタ」認定

#### 広島市 民間主導まちづくり

広島市は、民間主導でまちづくりを進めるエリアマネジメントを活性化するため、活動計画の認定制度を始めた。公共空間で営利活動などを禁じている規制を特例で緩和し、活動資金の確保につなげてもらう。第1号に、JR広島駅(南区)北口周辺の町内会や事業者などをつくる「エキキタまちづくり会議」の計画を認定した。

市民や事業主たちが地域の魅力づくりに取り組む。活動計画は、目的▽活動範囲▽組織構成▽財源確保を含む活動内容の4要件を市が審査。さらに公益性や事業効果、継続性などと照らし合わせて認定し、市の基準で制限がかかる公共空間での営利活動などを緩和して後押しする。

同会議は26団体が構成。2015年3月に発足し、

地元のスイーツ店を巡るスタンプラリーや一斉清掃などに取り組んできた。計画にはこれらに加え、公共施設の管理・活用も盛り込んだ。今後、民間事業者のビル間に整備される約千平方メートルの広場で、物品や飲食物の販売、イベントができればよいことになる。近くの公園に自動販売機も設け、これまで課題だった自主財源の確保に努める。

市役所であった交付式で、松井一実市長から認定書を受け取った同会議の下河内一成会長(62)は「規制緩和は画期的。新たなスタートにしたい」と話していた。

(江川裕介)

# 小さなエリアマネジメントのために 必要となる支援

例えば・・・

## 公園の規制緩和

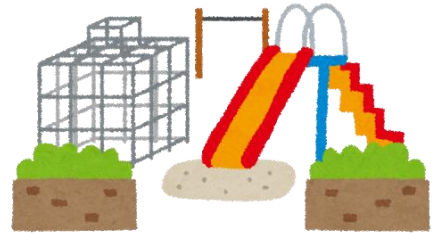
- 販売行為を許可してほしい。  
(フリーマーケット、オープンカフェなど)

## 集会所の規制緩和

- 自動販売機を設置したい。
- 屋外広告看板を設置したい。

## 道路の規制緩和

- 移動販売車やオープンカフェ等を設置して、販売行為を行いたい。



今後、小さなエリアマネジメントの運用に必要な支援を検討していきます。